

中小企業組合NAVI



やまなしの中小企業と組合の羅針盤

特集

一部の価格転嫁は実現、
全業種で人材不足が顕在化
～令和6年度中小企業団体情報連絡員会議を開催～



昭和36年4月10日第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

定価 100円

目次

P2～3 【 特 集 】...情報連絡員会議を開催

P4～5 【 景 況 】...データから見た業界の動き(10月)

P6～9 【取材記事】...企業経営者にインタビュー
各種団体等の取り組みのご紹介

P10 【ものづくり補助金】...㈱ブリング・夢屋の「ものづくり補助金」活用事例紹介

P11 【 情 報 】...中小企業団体新春セミナー・交流会のご案内

P12 【 情 報 】...組合関係県政功労者のご案内

読みやすく判別しやすい「ユニバーサルデザインフォント」を採用しています

発行所

山梨県中小企業団体中央会

甲府市飯田 2-2-1 中小企業会館 4 階 / TEL 055(237)3215 / FAX 055(237)3216
https://www.chuokai-yamanashi.or.jp / e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp



一部の価格転嫁は実現、全業種で人材不足が顕在化

～令和6年度中小企業団体情報連絡員会議を開催～

当会が行う中小企業団体情報連絡員事業は、県内の各業界を代表する組合の役職員50名を「情報連絡員」として委嘱し、各業界における景気動向や中小企業の経営に関する意見・要望等を聞き取り、全国中央会を通じて国や県等へ要請を行い経済対策や支援施策への反映に活用している。また、県内経済の動向調査結果としてマスコミへの情報提供や機関紙への掲載を行うなど、中央会の重要な情報ソースとなっている。



講習会の様子

中央会では、10月22日(火)にホテル談露館において、中小企業団体情報連絡員会議を開催した。情報交換では、出席者から各業界の景況感や組合員企業の経営状況、課題解決に向けての取り組み、中央会への要望などについて発言があり、栗山会長及び山岸専務理事が聞き取りを行った。また、情報交換終了後には中小企業診断士の鈴木 信貴 氏を講師に招き「『価格転嫁実現』のために～取引先の理解を得るためのポイントとは！？～」をテーマに講習会を開催した。取引先との交渉の進め方、価格設定・見直しの考え方について学ぶ機会を設け、出席者は熱心に聞き入っていた。

出席者からの報告概要は次のとおり。

● 栗山会長(塗料卸売業 協同組合山梨県流通センター) -----

仕入価格高騰分の転嫁はスムーズに進んでいる。人手不足が深刻であり、事業を縮小せざるを得ない事業者が今後増える予測である。



栗山会長

● 戸栗委員(木材・木製品製造業 山梨県木材製品流通センター協同組合) -----

ウッドショックをきっかけに国産材・外国産材ともに価格が上昇しており、住宅着工数も減少、売上・収益状況ともに前年を大きく下回っている状況であることから、加工品(テーブルなど)の製造販売も検討している。また人手不足が深刻であり、仕事量が増えたとしても対応できる体制ではない。

● 八木委員(業務用機械器具・電気機械器具製造業 上野原機械器具工業協同組合) -----

半導体関連について取引先(元請)の受注量は増えている様子であるが、組合員(2次・3次下請)の受注量は横ばいの状況が続いている。秋口から来年にかけて状況が改善するとの情報もあるが、取り扱い業種や機種によって差が発生すると考えている。

また、少ない見積案件により価格競争が激化しており、人件費上昇分の転嫁について取引先からの理解も得られないため、生産性向上によるコストダウンを目指すしかないと考えている。

今年度からの新たな取り組みとして、都留機械金属工業協同組合と互いの業界動向について情報交換を行っている。

● 山本委員(骨材・石加工等製造業 山梨県砂利協同組合) -----

地域の工事状況によって製品の需要量に大きな差があるため、公共事業の増加をお願いしたい。また原材料や燃料、産業廃棄物処理に係る費用が上昇しており収益状況が悪化しているため、骨材価格の値上げについて理解を得ることができるよう、取引先との交渉を進めていきたい。

● 秋山委員(電気機械器具製造業 山梨県配電盤工業協同組合) -----

カスタムメイド製品を取り扱う場合が多いため、技術者の確保・育成が課題である。電気技術関係の学生の確保およびU・Iターン希望の技術者を採用できるよう、関係機関に支援をお願いしたい。

今後は、仕事量は増えるが受注単価は横ばいを予測している。購入機器等の納期遅延は解消されつつあるが、見積～製造までが長期化しており取引先や金融機関からの理解を得る必要がある。

● 山田委員(食肉小売業 一般社団法人日本食肉協会山梨県支部) -----

価格転嫁はスムーズに行うことができている。コロナ禍以降、宿泊制限や宴会数の減少によって宿泊施設・飲食店からの受注量は減少している。また物価高騰により消費者の購買意欲が低迷しており、高級肉(和牛など)の売れ行きが悪い。



山田委員

● 篠原委員(廃棄物処理業 韮崎市環境事業協同組合) -----

資源物の契約業務において、県外からの新規参入が増えている(建設リサイクル法、家電リサイクル法、食品リサイクル法、小型家電リサイクル法に基づく認定事業者)。

そのような事業者は収集運搬・処理を無償で行い、資源物に含まれる希少金属などを販売し利益を得ているが、不法投棄を行うなど環境への悪影響が懸念されるため規制強化を含め国等と協議していく必要がある。

● 古屋委員（鉄骨・鉄筋工事業 一般社団法人山梨県鉄構溶接協会）

全国的に生産量が減少傾向であり、鋼材価格も上昇している。国や大手ゼネコンに対して価格転嫁や設計変更による下請事業者のコスト負担を低減するよう全国組織を通じて要望を行っており、当協会でもこの動きに合わせて県等に要望を行う予定である。

また業界では2024年問題を受けて、運送コストの増加要因（トラックの待機、天候不順による工期の延長・中止など）を排除するよう取り組んでいる。

● 高橋委員（警備業 山梨県警備業協同組合）

イベントの増加によって警備員の需要は増加しているが、人手不足によって対応しきれない。また警備員の高齢化も深刻である（県内警備員の2人に1人が60歳以上）。若手人材を確保するため学校等へ就職促進も行っているが、応募は極めて少ない。今後は女性警備員の増加にも力を入れて取り組んでいきたい。



高橋委員

● 杉本委員（電気工事業 山梨県電気工事工業組合）

インフラを支える電気工事業は無くなることはない業種であると考えますが、度重なる資材の値上がりによって工事見積が上昇し、失注が増えている。後継者不足による事業者の減少も課題であり先行きに不安を抱えている。

● 小緑委員（管工事業 甲府市管工事協同組合）

管工事業の就業者数の減少（29年間で約30%減少）に加えて、時間外労働の上限規制によって受注体制にも影響が出ている。組合では人材確保・育成のため国家資格の取得支援などを行っており、今後も業界の魅力向上のため一歩ずつ前進していきたいと考えている。

情報交換会のコーディネータを務めた栗山会長は、「今年度の上期の景況調査では、物価高騰や人手不足によって経営の先行きを懸念する声が多く寄せられた。中小・小規模事業者の個々の企業努力には限界がある中で、現下の厳しい経営環境を乗り越えるためには同じ課題や問題を抱える者同士の連携の力が必要であると感じている。本日いただいた様々な課題・問題点を解決に導くために、中央会が何をすべきかを考え、国や県・全国中央会に対して引き続き中小・小規模事業者の声を伝えていく。」と締めくくった。

情報提供
研修「価格転嫁実現」のために
～取引先の理解を得るためのポイントとは!?～

① 取引適正化に向けた国の施策

● 下請法の運用基準改正

原材料価格や労務費などの上昇分を反映せず、下請代金を据え置くことも「買いたたき」になりかねない旨が明記された。「値引きの要請」か「買いたたき」に該当するかは、以下のよう
な要素を勘案して総合的に判断される。

- (1) 下請代金の額の決定に当たり、下請事業者と十分な協議が行われたかどうかなど「対価の決定方法」
- (2) 差別的であるかどうかなど「対価の決定内容」
- (3) 「通常支払われる対価」と「当該給付に支払われる対価」との乖離状況
- (4) 当該給付に必要な「原材料等の価格動向」

講師の鈴木 信貴
中小企業診断士

② 「団体協約」を含めた価格交渉

● 「防衛的値上げ」から「価値提案型値上げ」への転換

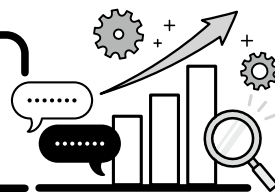
企業間で売買されるモノの価格上昇は落ち着きを見せ始めており、コスト上昇だけを理由とした価格転嫁は取引先からの理解が得にくい状況である。

商取引において利益は価格のみならず、納期・支払条件、品質保証、付加価値など様々であり、自社が提供する商品・サービスの価値（顧客価値）を高め、それに対して適切な対価を請求する「価値提案型値上げ」への転換が重要である。

● 団体協約

取引において弱い立場にある中小企業者の不利性を解消するため、中小企業組合が組合員と取引先との間に立ち、取引条件（製品やサービスの最低価格・品質条件、支払条件など）を取り決めることができる。団体協約を締結した事業者との契約では、組合員が個別に行う契約であっても団体協約に基づく契約条件が適用される。なお、組合員と取引関係がある事業者は交渉に応じる義務がある。

鈴木講師は、「価格交渉の成功は準備段階で決まるといっても過言ではない。下請けかけこみ寺・よろず支援拠点などの相談窓口や、行政が提供している価格交渉支援ツールなども活用して適正な収益確保につなげて欲しい」と講習会を締めくくった。



10月報告のポイント

**非製造業の売上高D.I値が大きく低下
人手不足によって仕事量を制限する事業者が多数**



10月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で

売上高 ▲2ポイント【8ポイント↘】

収益状況 +4ポイント【6ポイント↑】

景況感 ▲12ポイント【2ポイント↘】

となり、収益状況が前年同月を上回った。

※【 】内は前年同月との比較です



製造業では…

売上高 ▲5ポイント【15ポイント↑】 収益状況 ±0ポイント【15ポイント↑】 景況感 ▲30ポイント【±0ポイント】

売上高・収益状況D.I値が上昇（ともに+15ポイント）したが、「半導体関連は10月に入っても新規の見積がほとんど無く、リポート品の受注量も減少している（電気機械器具製造業）」、「価格交渉を続けているが、運搬車両の運賃上昇分などを十分に転嫁出来ていない（骨材・石工品等製造業）」など、仕事量の確保・価格転嫁の状況は業種によって大きく偏りがあり、数値の回復が製造業全体の傾向とは言えない。

非製造業では…

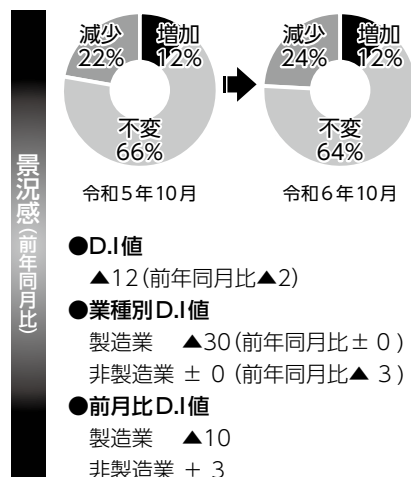
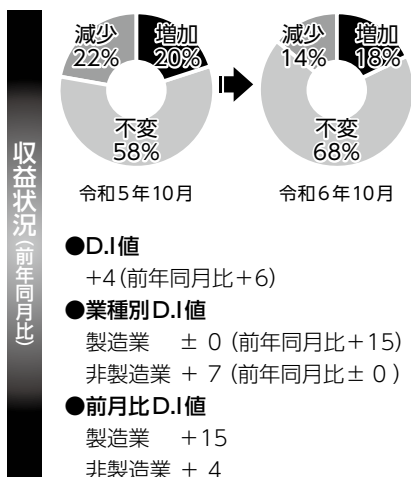
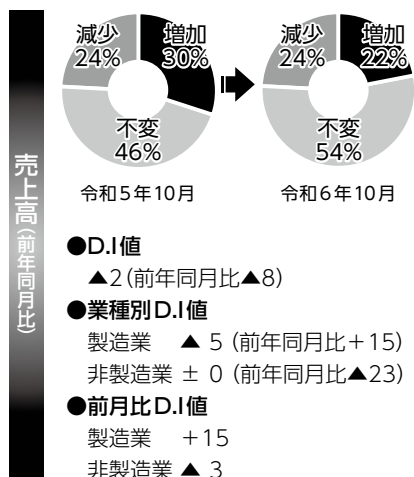
売上高 ±0ポイント【23ポイント↘】 収益状況 +7ポイント【±0ポイント】 景況感 ±0ポイント【3ポイント↘】

秋の行楽シーズンに入り、人流増加の好影響を受けた宿泊業や道路旅客運送業は先行きも明るい様子であったが、「製品価格の上昇によって、消費者（特に若年層）の購買意欲が低下している（ジュエリー製品卸売業）」、「諸物価の高騰による消費者の購買意欲低下を感じており、家電買い替えサイクルの長期化を予測している（電気機械器具小売業）」など、卸売業・小売業を中心に物価高騰による消費活動の低迷が起きており売上高D.I値が大きく低下（▲23ポイント）した。

また「年末に向けて県内外から警備依頼が増えているが、警備員不足で受注することができない（警備業）」、「人手不足が深刻であり施設によっては稼働を抑えて営業している（宿泊業）」など、人手不足によって仕事量を制限せざるを得ない事業者の報告も多く、売上低下の大きな要因となっている。

一部の価格転嫁は実現（全体の収益状況+6ポイント）しているが、「仕事量は確保できているが安価な契約を余儀なくされる場合があるため、経営状況が厳しい（型枠大工工事業）」を例に、業種によっては取引先からの値下げ要請（圧力）によって収益状況が一方向に改善されていない。また「廃棄物処理業許可を必要としない認定事業者が、自治体との契約業務において実績づくりのために非公正な取引価格で契約するケースが増えている（廃棄物処理業）」との報告もあった。

中央会では、厳しい経営環境を乗り越えるため、専門家派遣や講習会等を活用した支援を強化しています、お気軽にご相談ください。



※((良数値÷対象数)×100)-((悪数値÷対象数)×100)=D.I値

業界からのその他のコメント

● 製造業

食料品（水産物加工業）	前年同月と比べ売上は99.7%となったが、製造に係るすべてのコストが上昇しており厳しい状況が続いている。
食料品（洋菓子製造業）	店舗拡大効果によって前年同月と比べ売上は113%となった。原材料価格・運搬費などが高止まりしている。
食料品（酒類製造業）	10月はワインの仕込み時期であるため、臨時従業員の雇用や半製品在庫の増加によって資金需要が増大する。
繊維・同製品（織物）	組合員の減少によって総代会制が維持できず、総会制への移行を決議するため臨時総会を開催した。事業者の減少など繊維業界を取り巻く環境は厳しさを増すばかりであり、サプライチェーンを含めて業界の再編について検討する必要がある。
木材・木製品製造	前年同月と比べ売上は44%増加したが、先行きは不透明である。
窯業・土石（山砕石）	前年同月と比べ売上・収益状況ともに3%好転した。価格交渉を続けているが、運搬車両の運賃上昇分などを十分に転嫁出来ておらず、厳しい状況が続いている。
鉄鋼・金属（金属製品製造業）	景況感の好転を感じており、前年同月と比べ売上は3%増加した。
一般機器（業務用機械器具製造業）	前年同月と比べ売上・収益状況ともに▲30%となった。9月以降、半導体関連・設備関連の受注量減少が深刻化しており、先行きを不安視している。
電気機器（電気機械部品加工業）	前年同月と比べ売上は▲10%・収益状況は▲5%となった。半導体関連について、9月の報告では秋口から来年にかけての状況改善を予測していたが、10月に入っても新規の見積はほとんど無く、リピート品の受注量も減少している。元請の受注量増加が組合員（2次・3次下請）まで波及しておらず、厳しい状況が続いている。
宝飾（研磨）	前年同月と比べ売上は▲20%となった。原材料価格の高騰による製品価格の上昇が課題である。

● 非製造業

卸売（塗料）	建築関係の仕事量が半減しており、前年同月と比べ売上は▲29%・収益状況は▲20%となった。
卸売（ジュエリー）	金（1g＝14,873円 ※前年同月から+40%）など原材料の価格高騰によって製品価格が上昇し、消費者（特に若年層）の購買意欲が低下している。在庫資産額も上昇したため増益となったが、実態とは一致しない。販売数は前年同月比▲12%であり、製品単価が上昇しているため売上は確保することが出来ているが、十分に転嫁が進んでいない。また従業員の高齢化が進んでおり求人募集を行っても応募が無く、今後さらに人手不足が深刻化することを予測している。
小売（青果）	前年同月と比べ売上は▲11%、収益状況は▲5%となった。天候不順によって野菜の出荷量が減少、価格が上昇しているが、果物（特にシャインマスカット）の売れ行きは好調であった。今年度は害虫被害も多かったため、柿など秋が旬の果物の流通量の減少を懸念している。
小売（電気機械器具小売業）	前年同月と比べ売上は▲3%、4月からの累計でも▲5%となっており、諸物価の高騰による消費者の購買意欲低下を感じる。今後は家電の買換えサイクルも長期化することを予測している。
商店街	大月駅周辺で有料駐車場が乱立しており、組合が管理する駐車場の売上が減少している。大月駅前の人流は増加している一方、商店街の客足は増えず、組合員は厳しい状況が続いている。大月駅利用者や周辺ホテルへ宿泊する外国人観光客などを商店街にどのように誘引するかが大きな課題である。
宿泊業①	スポーツ大会などのイベントが多く開催され団体客が増加、施設の稼働状況も良かった。多くの宿泊施設で11月・12月の予約が殺到している様子である。
宿泊業②	前年同月と比べ売上は8%増加した。宿泊業界全体で人手不足が深刻であり、施設によっては稼働を抑えて営業している。
産業廃棄物処理	売上は上向いているが人件費の増加によって収益状況は悪化している。
一般廃棄物処理	自治体との契約業務において廃棄物処理業許可を必要としない認定事業者が参入しているが、実績づくりのために非公正な取引価格（無償の場合もある）で契約するケースが多く、業界の秩序を保つため対応する必要がある。
警備業	天候不順によって中止となる現場が多く、前年同月と比べ売上は▲2%となった。警備員を新規に募集しても応募がなく高齢を理由とした退職者も多いため、年末に向けて県内外の建設会社等から警備依頼が増えているが、受注することができない。
自動車整備業	車検台数について、普通車15,828台（前年同月比+561台）、軽自動車11,516台（昨年同月比▲70台）※集計の都合上、9月末の数値
建設業（総合）	10月の県内公共工事は、前年同月に比べ件数は3.7%となったが、請負金額は38.7%増加した。9月末の累計件数は1.4%、請負金額は4.3%と僅かに増加した。建設業保証会社による景況調査では、10月～12月の地元建設業界の景気動向について「悪い傾向が続く」との見通しが示されているため、今後の動向を注視している。
建設業（型枠）	資材価格の高止まりに加えて人件費も増加しているが価格転嫁が進んでいない。仕事量は確保できているものの安価な契約を余儀なくされる場合があるため、経営状況が厳しい。
建設業（鉄構）	資材価格は僅かに下落傾向であるが、取引先からの加工賃の値下げ要請（圧力）によって収益状況が改善されず、図面決定の遅延も解消されない。元請のゼネコンが十分な利益を確保できない物件受注を見送っているため、今年度末まで鉄骨受注物件数の増加は見込めない。
設備工事（管設備）	前年同月と比べ売上は15%増加、収益状況は148%となった。管工機材の売上について空調機器の貢献が大きく、粗利ともに僅かに増加傾向である。
運輸（バス）	前年同月と比べ売上・収益状況ともに10%好転した。秋は観光のトップシーズンであるため11月まで売上は堅調に推移する予測である。
運輸（トラック）	輸送需要の高まりには一服感がある。2024年問題への対応のため、運行の見直しや価格交渉に取り組む事業者が増えているが、課題はまだまだ山積みである。



ビルメンテナンスでお困りのことはありませんか？

株式会社エム企画

- ☒ 代表取締役…三神 浩太 ☒ 業種…ビルメンテナンス業 ☒ 設立…平成11年4月
☒ 所在地…甲府市蓬沢1-16-40 ☒ TEL…055-225-6359



担当：鈴木

当社は、ビルメンテナンスを主な事業として平成11年4月に設立し、ホテル、マンション、病院、工場、オフィスビル、店舗、学校等の施設の清掃や給水設備の衛生管理、電気、空調設備の管理など様々な業務を行っています。

ビルの清掃には、大きく分けて室外清掃と室内清掃があります。室外清掃では外壁や窓ガラス、屋上、玄関などビル外側の清掃を行い、室内清掃では、床、壁や天井、ドア・ガラス、照明器具や吸排気口、トイレや湯沸かし室などの清掃とゴミの回収を行っています。室内清掃のうち床清掃については、建材に合わせた清掃方法で行い、塩化ビニールタイルなど弾性床材の床では、日常的にはダストモップやほうきなどでちりやほこりを取り除く作業を施し、定期的に床に付着した汚れをモップで拭き取った上で、汚れや傷みから建材を守るためにワックスがけ、カーペットの床では、掃除機でほこりを取り除き、必要に応じてしみ抜きや洗浄を心掛け作業を行っています。また、毎日行う日常清掃では、頻繁に使用され汚れの激しい場所の清掃を行い、1週間から1ヶ月に一回行う定期清掃では、汚れの少ない場所や日常清掃で

十分にできない場所の念入りな清掃、損傷部分の補修、内装材の保護処理などを行っています。

ビルメンテナンス業は山梨県内にも数多くの同業社がありますが、当社の強みは、お客さまの各種相談にスピーディな対応を心掛け、25年以上に渡り清掃作業を行い得た知識やノウハウがあり迅速な対応が可能です。お客さまから「清掃や設備保守の費用が高い、施設の電気代が高騰している、清掃と設備業務に手間がかかっている、現場の清掃と設備管理状況が見えていない、施設の除菌消毒をどうしたらいいかわからない」等のご相談がありましたら、そのお悩みは当社が全て解決していきますのでお任せ下さい。定期清掃や単発清掃、早朝や深夜も臨機

応変に対応していきますので、お困りのことがありましたらご連絡をお待ちしております。



丹波山村に再び灯をともすために

灯里(一般社団法人丹波山ロケッツ)

- ☒ 代表理事…白木 孝郎(たばやま複業協同組合理事長) ☒ 業 種…飲食サービス業
☒ 所 在 地…北都留郡丹波山村中組2557 ☒ 創 業…2021年7月15日



担当：河野

灯里は、築80年の古民家を改装したお食事処で、かまどで毎日炊くご飯と地元野菜を使用した日替わりの「いなか弁当」やワインを作る際に出る果皮を入れて煮込んだ「ワインカレー」などが楽しめます。また土間と和室の空間に囲炉裏やかまどに薪ストーブが作り出す落ち着いた雰囲気の中で、村民の皆様も観光のお客様もゆっくりとした時をお過ごしいただけます。料理に使用する野菜はご近所からいただくなど灯里は丹波山村の皆様を支えられて運営しているため、灯里も村のために貢献したい、そんな思いで村内に無料でお弁当の配達も行っています。

私が子供の頃の丹波山村は、人々の賑わいがあり、自動販売機の灯、建物の灯と数々の灯がともる明るい村でした。しかし、25歳のとき家業の建設会社を継ぐため村に戻ってくると人口は減り、村から人々の賑わいや様々な灯が消え、村が真っ暗になってしまったと感じました。そこで私が商工会の会長を務めていた頃、当時の副村長と協力し、補助金を活用して村の活性化に取り組みしました。



こだわりの囲炉裏

補助金期間終了後は、購入した空き家を改築し、かつてのように丹波山村に再び灯をともらいたいという思いから、憩

いの場やお食事処、宿泊など様々な用途で利用できるように灯里をオープンさせました。

灯里は、開業時からの従業員である芦澤さんと丹波山村地域おこし協力隊の方々の協力があって安定して運営ができていますが、お客様に好評の灯里の味を創っている芦澤さんも高齢となり、その技術やノウハウを伝承していくことが、今の難しく重要な課題です。

現在は日中のみの営業ですが、今後は人手が確保できれば灯里を夜も営業し、村民が集いお酒を片手に交流できる場所を作りたいと考えています。また、農泊施設としての充実も図りたいです。これからも「灯里」を通じて様々なことに挑戦し、丹波山村にたくさんの「あかり」ともしていきたいです。



第76回中小企業団体全国大会(福井県)

～物価高に対応した人材確保や事業継続支援などの早期実現要望、14項目の決議を採択～

全国中央会と福井県中央会は10月24日(木)、フェニックス・プラザ(福井県福井市)において「第76回中小企業団体全国大会」を開催し、全国から中小企業団体の代表者約2,000名が参集した。本県からは栗山会長をはじめ、組合等関係者など12名が出席した。

本大会は、皆が幸せを実感できる社会の実現と中小企業組合が持続的に成長・発展を図ることを目的として、「つながる ひろげる 連携の架け橋～幸せ紡ぎ新しい未来へ～」をテーマに全国約3万の組合等の総意を表明する場として毎年開催されている。

大会では、武藤容治経済産業大臣及び福岡資麿厚生労働大臣からのビデオメッセージが披露されるとともに、臨席した中村保博福井県副知事、西行茂福井市長、関根正裕商工中央金代表取締役社長よりご祝辞が述べられた。議案審議や「総合経済対策の早期執行と地域



を支える中小企業の持続可能な成長を実現する対策の強化」と題して意見発表が行われ、次のとおり大会宣言が行われた。



担当:笠井

大会宣言(略)

中小企業・小規模事業者の経営は、度重なる自然災害等の発生、エネルギー・原材料価格の高騰や賃金引上げに直面する一方、十分に価格転嫁ができない中、さらに、人手不足、賃上げ原資の確保に苦しむなど、極めて厳しい経営状況が続いている。その状況から一刻も早く脱却し、皆が幸せを実感できる社会の実現と中小企業組合が持続的に成長・発展できるよう、国等に対して、迅速かつ手厚い中小企業対策と総合経済対策を引き続き要望するとともに、次のスローガンのもと、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。



- 一、震災からの早急な復興、豪雨、地震対策の強化
- 一、適正な価格転嫁対策の推進と物価の安定
- 一、人材確保、生産性向上等、持続可能な成長支援策の拡充
- 一、事業承継円滑化のための対策強化
- 一、地域の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- 一、中小企業組合等連携組織対策の拡充強化

また、同大会では全国の優良組合(43組合)、組合功労者(72名)、中央会優秀事務局専従者(25名)の表彰も執り行われた。本県からは優良組合として山梨県農業機械商業協同組合(内川和彦理事長)、組合功労者として篠原充(北杜市環境事業協同組合)、中央会優秀事務局専従者として神山佳之が受賞の栄に浴した。

なお次回の第77回大会は、来年11月12日(水)に広島県広島市の広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ)で行われることの発表があり、大会旗が全国中央会の森会長から広島県中央会の伊藤会長へ継承され、本大会は閉会した。



優良組合
農業機械商業協同組合
(内川和彦理事長)



組合功労者
篠原 充氏
(北杜市環境事業協同組合)



専従職員
(神山佳之)

インボイス・定額減税セミナーを開催

中央会では、「インボイス・定額減税セミナー」を国中地域として11月21日(木)に中央会「研修室」、富士・東部地域として28日(木)にハイランドリゾートホテルにおいて開催した。

このセミナーは、税理士法人ファインワークス代表・税理士小林正幸氏を講師に招き、昨年10月に始まったインボイス制度について問い合わせの多い、「2割特例制度」や「8割控除」など売り手・買い手側それぞれの経過措置についての詳細な情報、また給付金・定額減税一体措置として行われた令和6年度の定額減税へ対応する年末調整の事務手続き上の注意点など説明し、2会場で中小企業者、組合事務局等50余名が参加した。

定額減税は、年収2,000万円以下の人を対象として



セミナーの様子

納税者本人とその配偶者や扶養親族1人につき、所得税3万円、住民税1万円の合計4万円が令和6年の税金から控除する施策で、所得や扶養親族の数等に

よって減税の仕方がそれぞれ違って複雑であり、令和6年だけの適用となっていることから、中小企業の経理担当者や組合事務局等から詳しく知りたいという事前の要望も多くあったため、制度や年末調整のポイントについて例を用いながら給与所得者の基礎控除申告書等の記入の仕方、控除額の計算方法、源泉徴収簿や年末調整計算表などの記載の仕方、所得税と住民税から控除しきれなかった場合の調整給付金の支払いや年金給付者の確定申告が不要になるケース等についてもフローチャートを用いた解説があった。

参加者からのアンケートでは、「定額減税制度の中での年末調整がわかりやすい説明でよく理解できた。」「年末調整計算表の記入の仕方がよくわかった。」などの声があった。

中央会では会員の皆様のニーズに合った専門家派遣や講習会事業を実施しております。是非ご相談をお待ちしております。



講師 小林 正幸氏



担当・清水

活動紹介

～信頼されるものづくりを学ぶ！～ 紙幣の製造現場「国立印刷局 小田原工場」へ

組合等事務局で構成する山梨県中小企業組合等事務連絡協議会(仲田隆会長/37会員)は10月29日に視察研修事業を実施し14名が参加した。

視察先とした「独立行政法人 国立印刷局(小田原工場)」は、主に日本銀行券(紙幣)をはじめ官報、パスポート、郵便切手証券類など国民生活に密着した印刷物を製造しており、我が国の社会基盤を支えている。視察内容は、国立印刷局から同局の歴史や製品の信頼を維持するための偽造防止技術などについて担当者からの説明を受け、併せて実際に紙幣製造現場の見学も行った。

世界中の商取引において用いられる我が国の紙幣は、当然ながら信用・信頼が重要な要素となる。そのため、同局では偽造防止のため多くの技術が用いられており、中でも紙幣のデザインは伝統とデジタルが融合した技術である。お札のもとになる絵(原図)は、工芸官というデザイナーや彫刻を行う職員が筆や色鉛筆を使って精密に描き、ビュランという特殊な彫刻刀を使って金属板に点や線を刻み原版を作成する。その後、最新のコンピュータシステムで紙幣のカラフルな模様や彩紋という幾何学模様をデザインする。我が国の紙幣には、日本の伝統と最新技術が会って生まれた究極の技が詰め込まれていた。

研修を終えて、仲田会長は「今回の視察研修を通じて信用・信頼を得るための知見と見識を広げることがで

山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

き、さらに他の組合等事務局の皆さまと1日を共にすることで事務局間の横の繋がりも構築することができた。組合等事務局は職員の少なさから孤独になりがちではあるが、当協議会の取り組みを通じて事務局間の繋がりや情報交換がより活発になり、それを自らの組合等の運営に活かしてもらいたい。」と視察研修を通じた成果を述べた。



担当・仲澤

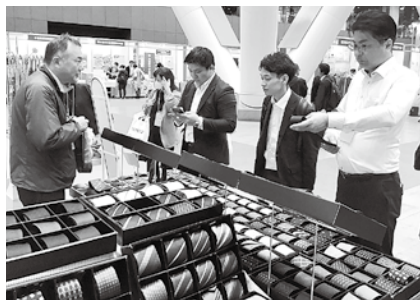


組合まつり in TOKYO

～技と食の祭典!～

山梨の技と豊かな食の魅力を発信

令和6年10月30日(水)～31日(木)に東京都中小企業団体中央会主催「組合まつり in TOKYO ～技と食の祭典!～」が東京国際フォーラムで開催された。このイベントは2017年より開催されており「中小企業受注拡大プロジェクト」の一環として都内をはじめとする全国の中小企業組合から出展を募り、組合の知名度向上、新たなビジネスチャンス・ビジネスマッチングの創出、地域の魅力発信、インバウンド需要獲得等を目的としている。オープニングセレモニーでは、會津健東京都中小企業団体中央会長が主催者あいさつ、来賓を代表して小池百合子東京都知事からビデオメッ



ネクタイの販売

セージが寄せられ、当会の栗山直樹会長も駆けつけた。会場内は、9つのカテゴリーに分けられ、132組合・団体が集結し、約12,000人が来場した。

本県からは、西

桂織物工業協同組合(武藤英之理事長)、富士吉田織物協同組合(加々美好理事長)、山梨県味噌醤油工業協同組合(武田信彦理事長)、山梨県食品産業協議会(白州・山の水農場合同会社)が出展した。西桂織物は、国産絹100%で軽くて通気性と保湿性を備えた人気商品のストールやマフラー、傘



甲州みその味噌汁の試飲

を、富士吉田織物の(有)カシワギは、先染めで細番手の糸を高密度に織った「ふじやま織」によるネクタイの展示・販売を行った。山梨県味噌醤油工業協同組合は、山梨の名水で仕込んだ醤油、全国的に珍しい製法(仕込む段階で麦麴と米麴の2種類を混ぜる)で仕込む「甲州みそ」を山の水農場が栽培するキノコとコラボして試食・展示販売を行い、終始人だかりが絶えなかった。



担当:笠井

世界最高水準の「緩まないネジ」の製造技術で 第16回やまなし産業大賞の最優秀賞を受賞

株式会社ニッセー(大月市)

「緩まないネジ」を開発した大月市のネジの転造機メーカー、株式会社ニッセー(代表取締役会長 新仏利仲)が、本年度のやまなし産業大賞の最優秀賞に選ばれた。

11月19日に県庁で行われた表彰式には天野秀一取締役副会長が出席し、有泉産業政策部長から表彰状を受け取った。

ボルトとナットによるモノとモノをつなぐ締結技術は、社会のあらゆる分野で重要な役割を担ってきた。これまでボルトとナットの緩み防止にはナットやワッシャーの変形や摩擦等を利用する方法が主流であったが、緩みを根本的に解決できず操作性やコストにも問題があった。

ニッセーでは、平成30年度から3年間にわたって経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業(通称:

サポイン事業)の補助を受け、パーフェクトロックボルト・バージョン2(PLBv2)を開発。その際には中央会が管理法人としてサポートを行った。

PLBv2は、ボルトの同軸上に進む距

離が違う2つのネジ山を形成し2種類の溝の異なるナットが干渉(緩もうとする内側のナットを進み方の遅い外側のナットが機械的に抑える)して緩みを止めるという画期的な技術と、複雑な形状のネジ山のボルトを転造用金型で成形可能としたことで量産化とコストダウンを実現し、今回の受賞となった。

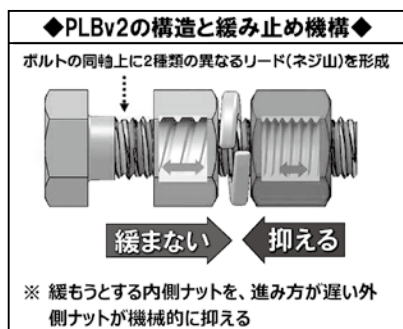
天野副会長は、「弊社はボルト転造機メーカーだが、市場開拓のためにエンドユーザーへのPLBv2の提供を始めた。振動によるボルトの緩みが課題になっている鉱山や重機業界で高い性能評価をいただいている。ボルトとナットの緩みが生命の危険や財産の毀損に直結しかねない分野や社会インフラも多く、PLBv2の優位性が認知されることでボルトとナット分野の世界的なゲームチェンジャーになれると期待している。」と語ってくれた。



天野副会長と有泉商工政策部長(左) 景山審査委員長(右)



担当:知見寺



やまなし ものづくり 最前線!

中央会では、国が行う「ものづくり補助金」の山梨県地域事務局として、試作開発等に取り組む事業者への補助金交付や事業推進の支援に取り組んでいます。このコーナーでは、「ものづくり補助金」を活用し、新たな事業展開のための試作開発に取り組んでいる事業者を紹介します。



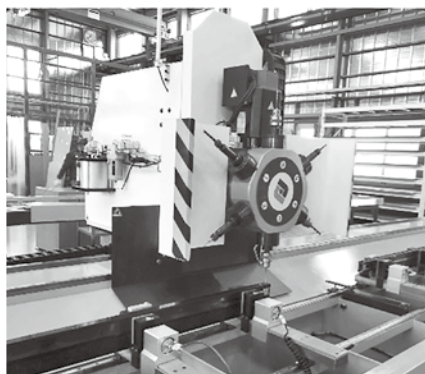
NCサッシ加工機械新規導入による 生産性向上と新商品開発に向けた取り組み

株式会社 ブリング・夢屋

代表取締役 山形 秀世 氏

一風変わった社名「ブリング・夢屋」のブリングとは“運ぶ”の意味を持つ“bring”と“永遠”を意味する“ring”からなる造語であり、“夢屋”は“夢を作る会社”でありたいという創業者の思いから命名されている。

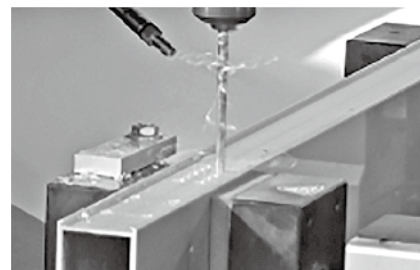
主要製品は、アルミニウム製サッシ・スチール製サッシおよび扉であり、これらの設計・製造から施工（現場に併せた施工）に至るまでの一貫対応をできることが強みである。事業エリアは主に山梨県と長野県であるが、中部横断道の開通により静岡県



導入設備
フジ産業製NCサッシ加工機

での施工も行っている。サッシ業界は大手メーカーのシェアが大きい市場であるが、大手が対応できないオーダーメイド加工が強みで小回りの利く会社として25年にわたる実績と信頼により現在の事業が成り立っている。しかしながら、人手不足と既存設備では生産能力に限りがあり、しばしば受注機会のロスが発生していた。このためNC（数値制御）加工装置による半自動化と工場移転に伴う生産性の効率化の必要性があった。工場の移転をきっかけとして、すでにNC加工装置を1台導入していた

が、さらなる生産性向上のための新型機導入を検討していた。その際、装置メーカーから「ものづくり補助金」の利用を勧められ、社長及び工場長（現専務）と相談して申請を決めた。認定支援機関である山梨中央銀行がヒアリングを行い申請の骨子を作成。その骨子を元に社内で詳細を検討し申請書にまとめて申請に至った。また、申請時は個人事業主であったが、2021年6月から法人（株式会社）となった。



加工の様子

導入したNC加工機は、加工部が移動するコラムフィード型で移動距離が5,000mm以上であり、走行軸が長いことが本装置の特徴である。既存設備よりも2,000mm長くなったため、さらに長尺の製品の製造が可能となった。主力である2,000mm程度の製品であれば、5,000mmの範囲で左右2か所での作業および加工プログラミングが可能となり、生産ラインが実質2ライン増加したこととなる。現有しているNC装置と比べると、加工に必要な所要時間は54分から51分と3分の短縮であるがラインが増加し、合計2台の設備はコンピューター制御であるため1人の人員で作業できるようになり、作業効率は大幅に向上している。またNC加工機を利用する前と比較すると加工時間は1/2以下に短縮され、加工品の精度も向上している。当初の売上目標はほぼ達成できており、現状の平均納期14日から10日の目標を達成できている製品もある。

同社では以前よりアルミ部門（設計・加工）、スチール部門（設計・加工）、施工部門（営業・現場作業）の3つの部門を超えて社内全体でジョブローテーションを導入し、特定の職人の技術に頼らない製造ラインの構築も進めている。ジョブローテーションによる作業効率の向上による空き時間を利用し、ベテラン技術者から設計や加工技術の共有を行うことで技術伝承も行って実施できている。



事務所と工場

情報BOX1

2025 中小企業団体新春交流会

皆様お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

日時 2025年1月14日(火) 16:00~18:00

場所 アピオ甲府タワー館(中巨摩郡昭和町西条3600) 4F 光華
※新春特別セミナー 6F サボイ(14:00~15:30)

参加費(交流会) 1人 ¥5,000

申込締め切り 12月23日(月)まで

お問い合わせ 中小企業団体中央会 総務課
TEL: 055-237-3215

情報BOX2

2025 新春特別セミナー

南極生活で学んだ 食材と環境を大切にすること ～フードロス・環境保全を考える～

今回は、元南極地域観測隊調理隊員でコンビニ商品「悪魔のおにぎり」のコンセプトのモデルとなった渡貫淳子さんを講師に、環境問題を考えるヒントになるよう、新春特別セミナーを開催します。

講師 南極シェフ/フーディフード株式会社
渡貫 淳子さん

日時 2025年1月14日(火) 14:00~15:30

場所 アピオ甲府タワー館(中巨摩郡昭和町西条3600) 6F サボイ
※新春交流会 4F 光華(16:00~18:00)

申込締め切り 12月23日(月)まで

お問い合わせ 中小企業団体中央会 総務課
TEL: 055-237-3215

日本政策金融公庫からのご案内 JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

「事業資金」のお知らせ

新型コロナウイルス感染症特別貸付のご案内

ご融資額8,000万円以内
返済期間 運転20年

ご相談は甲府市店が承ります。
お気軽にご相談ください。

「国の教育ローン」をご存じですか？

制度創設以来、40年以上の歴史を持つ公的な融資制度です。

融資限度額》お子さま1人につき/一定の要件に該当する場合/
上限350万円 上限450万円

「国の教育ローン」3つのポイント

- 固定金利**
年2.40%
令和6年7月1日現在
最長18年の
長期返済
- ご家庭の状況
に応じた
優遇制度**
- (公財)教育資金
融資保証基金
による保証**

- お借入時の金利が完済まで変わらない固定金利を採用し、返済期間は最長18年までと長期です。
- 「国の教育ローン」は、母子家庭、お子さまが3人以上の世帯などを対象に、金利の低減などの優遇制度があります。
- 「国の教育ローン」では、公益財団法人教育資金融資保証基金による保証をご利用いただけます。

JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業

日本公庫は、民間金融機関の取組みを補完し、事業に取組む方々等を支援する政策金融機関です。

日本政策金融公庫 甲府支店
国民生活事業
〒400-0031 甲府市丸の内2-26-2
TEL: 0570-042086

私たちは、組合員や地域の皆様に、より良いサービスを提供し続けることをお約束します。

皆様のベストパートナーをめざして

YKS 山梨県民信用組合

甲府市中央4丁目8-2ウエスギビル2階

情報BOX3

飲食事業者の皆様
無尽会・忘年会・新年会などの
幹事の皆様

さんまる いちまる
30・10運動

飲み会の
最初の30分と最後の10分は
食事を楽しむ時間にしましょう



まだ食べられるのに、捨てられてしまう食べ物の『食品ロス』の量は、年間472万トン。国民1人あたり、1日おにぎり1個分の食品を捨ててしまっている計算になります。

「30・10運動」の呼びかけを通じ、無尽会・飲み会での食品ロス削減を目指しましょう。



県では、「30・10運動」の呼びかけに役立つ啓発資材を配布しています。お気軽にお問い合わせください。

やまなし食品ロス削減飲食店 検索

山梨県 県民生活部 県民生活安全課 ☎055-223-1588

情報BOX4

栄 誉

中央会・会員団体関係者

県政功績者

河野 東 氏

やまなし素材生産事業協同組合 理事長
山梨県森林整備生産事業協同組合 前理事長

東條 初恵 氏

山梨県中小企業団体中央会女性部会 元部会長

シルバー人材センターを活用してみませんか？

簡単な仕事だけど、忙しい時だけ働いてくれる人はいないかな…
1カ月だけ社員と一緒に働いてくれる人はいないかな…
朝夕2時間だけ手伝ってくれる人はいないかな…
従業員にはできる人がいないけれど、だれかできないかな…
休日に代わりに仕事をしてくれる人はいないかな…

そんな時は… お任せください!!

シルバー人材センターでは、多彩な経験や技能を持った会員がこんな仕事をしています。

- 運転業務(自家用車) ●飲食店の調理補助 ●販売の手伝い ●製造の補助
- イベントの手伝い ●事務補助 ●受付管理 ●介護施設での補助業務
- 施設での清掃 ●グリーンセンター仕分作業 ●農業補助 など

まずは、お気軽に地域のシルバー人材センターに電話してください。

- シルバー人材センターとは…
- 全国各地に設立されている公益社団法人です。
 - 年齢と性別のある以上の方が会員として登録して、仕事をしています。
 - 高齢者にふさわしい勤務時間、短期・長期の仕事や、企業や地方公共団体等から派遣による仕事を承ります。
 - 法律により、「暫定雇用」「建設業」「医療関係」の仕事、高齢者に危険と認められる仕事には従事できません。
 - 派遣の場合、仕事の都合は、シルバー人材センター連合会で労災保険に加入します。
 - 請負による仕事も承ります。詳細については各地域のシルバー人材センターにお問い合わせください。

公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会

甲府市蓮沢1丁目15番35号 山梨県自治会館1階
TEL 055-228-8383 FAX 055-228-8389

URL http://www.y-sjc.jp/
E-MAIL y-rengo@sjc.ne.jp

高齢者活躍人材確保育成事業



センター名/メール/ホームページ

担当地域

住所/電話/ファックス

甲府市シルバー人材センター e-mail:citykoku@sjc.ne.jp http://yamanashi-koku-sjc.com/	甲府市	甲府市相生2-17-1 TEL 055-222-9488 FAX 055-222-9490
●大月事務所	大月市	大月市大月町花咲10 TEL 0554-22-2900 FAX 0554-22-2900
東部広域シルバー人材センター e-mail:y-toubu@sjc.ne.jp http://www.yamanashitoubu-sjc.jp/	都留市	都留市上野原1330 TEL 0554-45-3500 FAX 0554-45-3500
●都留事務所	都留市	
●上野原事務所	上野原市	上野原市上野原3757 TEL 0554-62-4700 FAX 0554-62-4700
東山梨地区広域 シルバー人材センター e-mail:y-enzan@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/y-enzan/	甲州市	甲州市塩山1上野原1833 TEL 0553-32-4110 FAX 0553-32-4109
●塩山事務所	山梨市	山梨市上野原1348番地 山梨市書く屋敷の家(夢わーく山梨2階) TEL 0553-22-4100 FAX 0553-22-4056
●山梨事務所		
富士五湖広域シルバー人材センター e-mail:fsjc-east@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/fujigoko/	富士吉田市・西桂町・ 山中湖村・忍野村・ 鳴沢村・富士河口湖町	富士吉田市松山1248 TEL 0555-22-9241 FAX 0555-22-9244
峡北広域シルバー人材センター e-mail:kyohoku@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/kyohoku/	韮崎市 北杜市	韮崎市中田町中泉1795 TEL 0551-25-6300 FAX 0551-25-6301
●諏訪事務所	市川三郷町 富士川町	南巨摩郡富士川町諏訪655-8 TEL 0556-62-1165 FAX 0556-62-1572
●身延事務所	早川町 身延町 南部町	南巨摩郡身延町梅平2483-36 TEL 0556-62-1165 FAX 0556-62-1572
峡中広域シルバー人材センター e-mail:kyochu@sjc.ne.jp https://www.kyochu-sjc.jp/	甲斐市 中央市 昭和町	甲斐市篠原2644-3 TEL 055-279-6626 FAX 055-279-6620
南アルプス市シルバー人材センター e-mail:m-alpssc@sjc.ne.jp http://www.j-gate.net/~m-alpssc/	南アルプス市	南アルプス市飯野2806-1 TEL 055-282-6633 FAX 055-282-6634
笛吹市シルバー人材センター e-mail:east8@sjc.ne.jp https://webc.sjc.ne.jp/fuefuki/	笛吹市	笛吹市石和町小石和751 TEL 055-225-6703-6704 FAX 055-262-8702

※丹波山村、小菅村、道志村はシルバー人材センターが未設置です。